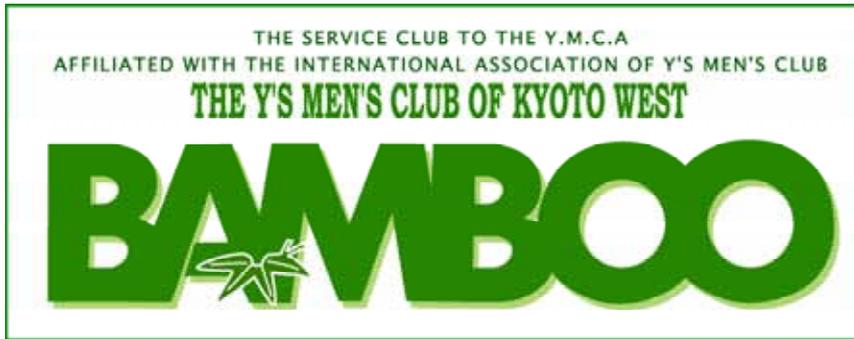




CLUB OFFICE
 京都 YMCA 国際専門学校
 〒 602-0033
 上京区烏丸今出川下ル
 TEL (075) 432-3191
 FAX (075) 432-9440



5
 No.327
 2007年5月号

「強い義務感を持つとう！義務は全ての権利に伴う」

標 語

国際会長 "Active Participation with Love"
 「愛をもって 積極参加」
 アジア会長 "Participation and Inspiration"
 「参画、そして感動を！」
 西日本区理事 "One for all, all for one"
 「一人はみんなのために、みんなはひとりのために」
 京都部部长 「百花繚乱 - 京都部 - 」

西日本区強化月間

L T

今月の聖句

「心の貧しい人々は幸いである。天の国はその人たちのものである。」

マタイによる福音書 5章 3節

クラブ
 会長標語

Heart Sharing

会長 河合久美子
 副会長 桂 厚子 岩本 敬子
 書記 牧野万里子 星野 淑子
 会計 大西 光子 金澤 典子

『感謝の心』

ドライバー委員長 高山 納



今私は、感謝の心を感じさせてくれた、このクラブに深く感謝をしています。私は昨年12月に、還暦を迎えました。その数ヶ月前には、後身に社長業を譲り、第一線から退きました。振り返れば、会社を創業してから、ただ、がむしゃらに突っ走ってきたように思います。手前味噌になりますが、それなりの成果を出せたことも、それなりに満足できたこともあります。ところが、

数年前に体調を崩したことから、いまひとつ元気が無くなり、だらだらと時勢に流されていく毎日が続いていました。

そんな時、昨年春頃、ワイズメンの活動に復活したのです。何気なく参加してみて、思いのほか充実している自分に気づきました。メンバーの温かい心に触れているうちに、自分には何か足りない！根本的なことが足りないから、やる気、エネルギーが出てこないのだ。と思うようになりました。本当の意味での『感謝の心』が足らなかったのです。

『実るほど頭をたれる稲穂かな』という言葉があります。気がつけば、年齢とともに、感謝は軽くなってきていました。決して感謝しないで来たわけではありません。お客様に、仕入先様に、そのたびごとに、精一杯、感謝をしてきました。しかしながら、今考えると、『感謝』の対象は、お客様と仕

入れ先様に、限られていました。『人との出会いに感謝する』簡単なようですが、なかなか出来ないことです。自分にとってプラスの人には、誰でも出会いを感謝できます。ところが、自分には利益をもたらさない、逆に不利益さえ持ってくる人にでさえ、出会ったことに感謝をする。これが出来る人は、すばらしい人です。人に対して、純粋な感謝の気持ちは、自分の心を、とても綺麗にしてくれます。この清々しさが、エネルギーの源になると気づきました。この素直で純粋な気持ちは、ウエストのメンバーが自然と教えてくれたのです。皆さんの心の暖かさが、私に気づかせてくれました。還暦という節目に、社長を譲ることで、この素直で純粋な気持ちを、再確認して、さらに深く、自分に落とし込もうと考えたのです。おかげさまで、身も心も軽くなり、少しづつ素直な気持ちが花開いています。この心の花を大切に、感謝を重ねて、ますます精進してまいりたいと思っています。

節目を越えた今、感謝で満ち溢れた、清々しい心を携えて、新たな大きな可能性に、厳しくチャレンジできることに、深く深く感謝いたします。

サミエル・ウルマンは、『青春とは人生のある時期を言うのではなく、心の様相をいう』と詠っています。私は今正に、青春の中にいます。

ありがとうございました

4月在籍者

例会出席率

BFポイント

ニコニコ

ファンド

会員	第一例会	第二例会	切手	Opt	第一例会	ネットファンド
26名	メン	14名	19名	現金	Opt	0円 0円
広義・功労会員	メネット	2名	4名 (メイキャップ含む)			
0名	コメット	1名	0名			
	ビジター	0名	0名	前月出席率		18,000円
	ゲスト	2名	1名	修正		
合計	26名計	19名	24名	なし	累計	累計171,400円 年間合計
					切手	
					現金	

出席第一・時間厳守・環境問題についての意識改革、行動・親睦・奉仕

一泊例会(4月第一) & 次期役員研修会

2007年4月21,22日(土日)リトセン

EMC委員 中原 一晃



PM 2:00 ちょっと遅咲きのリトセンに集合は次期の三役・委員長の面々。毎年より少し早い役員研修会。区・部の役員方々の方針を確認しながら考えに考えられた岩本次期会長の思いの説明。6:00からは総会 会則の変更とIBCファンドに付いて。場所を移動しいつもの鉄板焼きの準備です。高山ワイズゲストの藪本さんと加藤さん健康セミナーの健康レベルチェック。メンバー全員が鉄板焼きをほうばりながらトライ。何と最高GOODな成績は野田メネット。最悪BADな成績は私が獲得となりました。なんでやろ? 日ごろの不摂生? ストレス? 運動不足? 野菜不足? 喫煙? 全て当たりです。この成績を謙虚に受け止めもうちょっとお腹を減こめることにします。実はこの原稿を書いている今日の朝から健康診断でした。最後の問診で先生に同じ事を言われ、決意新たに今日からがんばります。鉄板焼きの後片付けもそこそこに場所をロッジに移動して今度は座談会。畳の広間で円になり例会や役員会とは違った雰囲気でおのおの意見の交換。一泊だから出る意見もあるんですよ。近場でもいいです、今回参加出来なかったメンバーも次回は是非!。午前1時が過ぎてお開きとなった後も男性軍はしゃべるしゃべる、3時を回りやっとお風呂で就寝。朝は近くのおばさんに段取りしてもたった朝食。こんなときはよく食べる。数名の帰宅組を除いて2台の車に分乗し瀬田川沿いの叶匠寿庵に。案内のおじさんが付いてくださりお庭を歩きます。途中茶室でおうすを頂き、お正客(最初にお茶を出される人)にうっかり座った私はしどろもどろで頂きます。さすが星野ワイズさらっとしたしぐさの中にもお茶を知っておられます。「お茶」の講義です。人をもてなし、いい気持ちになって帰って頂く。そのために招く人は細部に渡る気遣い。この気持ちは今度のIBCに生かしましょ。お茶の奥深さを少し見せてもらった気持ちになってまた散策。梅園や桜にいろいろな花々、多くがお茶のためのもてなしの花だそうです。籠弁当を頂き参加者全員大満足。ドライバー委員長の高山ワイズグッドチョイスです! ゆったりした時間を感じ

しながら庭園を散歩。リトセンへ戻り、夜のフェスタ ウエスト得意のブタ汁のため早目の仕込み。今回のフェスタの出し物はジャズバンドにレゲエチーム。これには賛否両論ありますがライトアップカウントダウンの後再度ジャズバンドが演奏して大盛り上がり。誰かが段取りし動いてくれているから楽しめる、リトセン委員会さんありがとうございます。今回は恒例の皿洗いをすることなく無事解散となりました。山に響き渡る軽快な音楽と今にも散りそうな桜を存分に満喫できた2日間でした。

4月第2例会

2007年4月26日(木)リーガロイヤルホテル

ブリテン委員 市橋 清太郎



先週末には一泊例会、翌日はリトセンの夜桜フェスタ、そして本日の第二例会とフル出席のメンバーは大変多忙な一週間でしたね。第二例会はYサ例会の趣旨の基、キリスト教について今一度考えてみようということ、日本聖公会司祭の小林聰牧師をゲストスピーカーにお招きして、「教養としてのキリスト教」という演題にてご講演頂きました。小林牧師は天津聖マリア教会・彦根聖愛教会の牧師を兼務され、また平安女学院中高のチャプレン(学校付の牧師)もされるなど非常に多忙な毎日を送られる中、ご講演に来て頂きました。「牧師の日常業務とは」の中で触れられておりましたが、教会に悩みや相談に訪れる方に対し、どんなに忙しくても「いつでも聞きますよ」と暇ぶるのが牧師のあるべき姿であるとお考えが温和な牧師の人柄を表しているように思いました。世界の紛争や戦争に裏には宗教や民族対立が絡んでいることが常ですが、小林牧師のお考えのように「相手の文化生活を理解しようとする姿勢」があればそんな争いも激減するのにとしつつ、現実にはそのような姿勢がないのがまた宗教か、とも思ったり。ワイズにはキリスト教の精神が根底にありつつも、特に日本のワイズメンにはクリスチャンであることを強要しない事は「相手の文化生活を理解しようとする姿勢」であり、よいことだと感じました。

最後に自分が無宗教であることは牧師様のおっしゃる事も住職様の説法もフンフンと聞いて都合がよいな～などと思った次第です。

司会：牧野ワイズ、参加メン20名、メネット2名

新連載コラム 森田ワイズの
『京都ウエスト温故知新(第二部)』
その五「CSのウエスト」とIBC,
そして京滋部誕生

前年度にクラブ入魂を果たした京都ウエストは更に研修を深めるため、1981年8月に開かれた第1回日本区EMCシンポジウムにも大挙して参加。中央大学 小堀憲助先生から「奉仕クラブとしてのワイズのあり方、(註・ワイズ必携に掲載)を学びました。

いわゆる小堀理論と称されるもので、今なお古参メンバーには親しまれ、全国的にワイズ運動の根本理念となっているのですが、近来、この大切な理念が失われつつあり、研修再開が望まれるところであります。

クラブでは国際障害年協賛の目的で取り組んだ社会福祉事業プログラムとして、福祉施設や一般市民を巻き込んだのBAMBOOチャリティバザール、向日ヶ丘養護学校へのボランティア支援活動、後に長岡京市のゴミゼロ運動のワイズ起因となったクリーン乙訓や献血協力、そして1983年4月には画期的な新事業として、平安徳義会の中学・高校生への「ワイズ奨学金制度」を発足させました。

その後も継続する一連のCS活動の成果は、日本区から総合CS事業賞をはじめ連年CS関係賞を受賞し「CSのウエスト」と呼ばれるまでに至っていました。

このようなCS展開ができたのも長岡YMCAに本拠を置き、長岡京から洛西ニュータウンを範囲とする西山地域をテリトリーと定めたウエストであればこそであり、1996年に長岡YMCAが閉鎖されたため京都に活動の場を移した今では、長岡京市におけるゲートボール大会と平安徳義会のバザーや夏祭りを残すのみとなっています。

1982年7月には韓国ソウルにて鍾路クラブとIBC締結。翌月には国際親善を図る交流計画を協議のため鍾路クラブを招聘し合同記念例会を開催。

1984年1月にはY'sling Exchange Programとしてウエストのメンバーがコメントを引率し3泊4日の行程で訪韓。ホームステイで言葉の壁を乗り越えた子供たちが異文化の中での国際交流の感動を体験し得たことは、今から思えば大人も子供も本当に勇気ある計画の実現というべきものであります。

その後1989年まで都合6回は全てウエストからの訪問で、初めてのホームステイ引き受けは、ようやく韓国政府が日本への渡航を許すようになった1990年1月のことでした。これまでの鍾

路クラブのご好意に少しでもお返しができたことでホットしたことが思い出されます。

しかし画期的な行事だった一年毎のコメント交換訪問プログラムも、年を経てお互いのコメントが成長したため残念ながら1992年の第9回をもって幕を閉じたのでした。

IBC関係のもう一つの出来事としては、当時の日本区IBC事業主任の推奨により、ハワイマウイクラブとのIBC締結話が起り、1984年3月例会場を長岡から移動していた京都タワーホテルにて、事業主任立会いもとにIBC締結を行ったことであります。

しかし肝心の相手クラブからの訪日もなく、5月のハワイ区大会での締結書交換も日本区役員に付託するに止まったのでした。この最初のつまずきとマウイが少人数の弱小クラブであったために、その後の交流もなく完全に失敗となりました。

このことは鍾路や後年IBCとなった台北ダウンタウンクラブのように締結にいたるまでの慎重かつ心の通う交流を経ずして行った拙速とも言うべきことであり、とても苦い経験となったのです。

一方クラブにかかわる大きな変化がありました。それは1983年7月からウエストの所属部であった北西部が、中部と京滋部に分割され新部がスタートしたことであります。

それまで33年の輝かしい歴史を築いた北西部は、富山・金沢から福知山に至る大変な広域部であったため、その不便性を解消する勇断だったのですが、北西部再編成委員長の任にあっていた森田ワイズが、部内の全クラブが分割を是とするところまでまとめあげた結果として、初代京滋部部長を引き受けるハメとなったのでした。

1983年8月金沢において第33回北西部さよなら部会と第1回京滋部・中部合同部会が開催され、懇親会では白波五人男に扮した京滋部三役が未来に架ける京滋部発展への決意を見事な啖呵で披露し、新部誕生を賑やかに祝ったのでした。

4月役員会議案報告

	内容	結果
議案1	吉田和雄ワイズ 3月末日をもって退会の件	承認
議案2	新Yサ委員長を松本ワイズとする件	承認
議案3	4/21～22一泊例会の会費について メネット3,000円 コメント2,000円とする	承認
議案4	4/22夜桜フェスタのチケット代をYサ委員会予算より、一人1,000円補助する。	承認
議案5	6/23引継例会 高山ドライバークomitee委員長をPT委員長とし、委員は委員長に一任する。	承認

5月 Schedule

5月7日	(月)	三役会	19:00~	今出川 YMCA
5月10日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイ ヤルホテル
5月13日	(日)	第一例会 (CS ゲートボール大会)	未定	長岡総合 運動公園
5月20日	(日)	YMCAチャ リティーラン	未定	鴨川公園
5月24日	(木)	第二例会 (通 常例会、総会)	19:00~	リーガロイ ヤルホテル

6月 予 定 抄

6月4日	(月)	新旧合同三役 会	19:00~	今出川 YMCA
6月7日	(木)	新旧合同役員 会	19:30~	リーガロイ ヤルホテル
6月8~12日	(金-火)	I B Cトライ アングルキャンプ	未定	大阪、京都
6月9~10日	(土-日)	西日本区大会 (第一例会)	未定	松下 IMP ホール
6月23日	(土)	第二例会 (引 継ぎ例会)	18:00~	リーガロイ ヤルホテル

5月 Happy Birthday

	メン	メネット
	辻中 康宏	安平 春美

5月 Happy Anniversary

	桂 厚子・五郎	
	藤居 一彦・美幸	

5月 他クラブ例会案内

	第一例会		第二例会	
	日程	場所	日程	場所
パレス	9日	ブライトン	23日	ブライトン
洛中	13日	嵐山	24日	全日空
みやび	2日	三条 YMCA	16日	セントノーム

YMCA News

1. 定期会員総会のご案内

日時 5月26日(土) 午後6時30分~9時

場所 京都YMCA三条本館マナホール

会員の方々の積極的なご参加をお待ち致しております。
お問い合わせは 電話075-231-4388

2. 障がいのある子ども達のための第3回京都 YMCA インターナショナルチャリティーラン

チャリティーランは、YMCA が提供するキャンプに障がいのある子どもたちが参加できるように支援するプログラムです。健康に走れる者が感謝の気持ちを持って走り、その喜びを参加費と協賛金として寄付するものです。数多くの方のご来場をお待ち致しております。

日時: 2007年5月20日(日) 午前9時~午後3時

会場: 鴨川公園 特設コース(京都 北大路大橋~出雲路
橋間 1週1.7km)

競技内容:

レースは、タイム順位制及びタイム設定制により順位を決めていきます。

1. 小学生による駅伝競技 (1チーム4名)
2. グループで走る(2~5名)でタイムレース タイムはレース後のゲームで決定
3. 一般駅伝(1チーム4名・中学生以上で駅伝方式の競技)
4. 個人駅伝(中学生以上)

1位、2位、3位には、表彰状・賞品を授与します。

その他、グループランではコスチュームやパフォーマンス等で優れたチームには特別賞があります。

ご協賛のお願い チャリティーランの趣旨にご賛同いただき、ぜひご協力をお願い致します。

協賛金 個人一口 5,000円

企業・団体一口 10,000円

泉州水なす漬物ファンドのお知らせ

今回、大阪泉州で青果業創業75年の向井青果「なす清」さんの御協力により新鮮で美味しい水なすを御提供させていただきます。水なすは8月終わりまでが美味しくいただくことができその美味しさはウエストメンバーの保証付です。お中元にもよし、お礼の品にもよし、ぜひお早めに御注文ください。

価格 6個入 ¥2,000、8個入 ¥2,600、10個入 ¥2,900(税込)
お問い合わせ・御注文はファンド委員長の山下がお受けいたします。お中元・御礼などの熨斗(のし)お申し付け下さいませ。対応させていただきます。

京都ウエストワイズメンズクラブ

ファンド事業委員長 山下 太郎

E-mail: yamashita@kyoto-west.com

TEL: 090-4905-0800 FAX: (075) 493-3321

今月の聖句解説

by 辻中連絡主事

何かに行き詰まった時、わたしたちは障がいになるものを取り除こうとしたり何かを変えようと努力します。それだけではなく、他人が変わってくれることを期待してしまいます。しかし、他人やまわりを変えるということは大変難しいことです。わたしたちが変えうるもの、それは自分の心だけなのです。でも、それが変わったらすべてが変わるのです。神に照らし合わせて自分の心を見つめる人、その人は幸いなのです。

編集後記

ブリテン委員長 立山 隆一

ブリテンの編集も残すところ後2回になりました。記事の内容チェックの甘さで誤字・脱字・他を見逃したりと皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。後2回気を引き締めて編集を行ってまいりますのでよりしくお願いいたします。

2007年1月号より当クラブのブリテン(紙面版)はグリーン商品リスト掲載品・FSC承認パルプを使用しています。また製本は(社)京都手をつなぐ育成会 山科共同作業所(知的障害者自立支援センター)に委託しています。